

自立活動学習指導略案

授業者 T1 T2 アドバイザー

テーマ	「リフレーミングを知ろう！」			
日時		時間		
場所		対象		

1 目標

生徒氏名	本時の目標	様子	評価
〇〇 〇〇	リフレーミングという考え方を理解して具体的に考え方に反映することができる。	例を参考にしてリフレーミングがイメージでき、言われて嫌な言葉を挙げて言い換えることができた。	4
〇〇 〇〇	表現を変えると見方や感じ方が変わることを理解できる。	欠席	
〇〇 〇〇	自立活動の意図を理解し、周囲の意見や考えを聞くことができる。	欠席	
〇〇 〇〇	表現が変わると感じ方が変わることが分かり、思ったことを発表できる。	言葉をいくつか挙げ、前向きな表現方法に書き換えることができた。	4
〇〇 〇〇	リフレーミングとは何かを知り、実際に表現や言葉を書き換えることができる。	実際のリフレーミングをすることは難しかったが、他の人から出される意見に同感できた。	4
〇〇 〇〇	リフレーミングを実践し、前向きな表現を考えることができる。	自分が嫌だと思ふ言葉をたくさんあげ、前向きな表現に言い換えることができた。	5
〇〇 〇〇	表現方法を変えることで、相手への伝わり方が変化することを理解できる。	相手の気持ちを想像し、表現を工夫できた。考えた表現を発表できた。	4
〇〇 〇〇	フレームを使って、見え方や感じ方の違いに気づく。	相手がどう感じるか予想することは難しかったが、リフレーミングの考え方を理解できた。	4
〇〇 〇〇	リフレーミングの考え方を理解し、実際に言葉の表現方法を変えることができる。	リフレーミングを理解して言葉の言い換えに取り組み、発表ができた。	5

評価基準 1:できなかった 2:少しできた 3:だいたいできた 4:できた 5:とてもできた

2 展開

時間	学習活動	区分	配慮事項・【評価のポイント】
10分	①アイスブレイク 「共通点グランドスラム」	コミュニケーション 6-(1)	授業に向けて、発言しやすい雰囲気をつくる。 【雰囲気に合わせて、自主的に発言できていることを認める】
35分	②本時の流れを知る。 ③本時の目標、個別の目標を確認する。 ④リフレーミングとは何かを知る。 ⑤自分と周囲の人の見方や感じ方の違いについて考える。 ⑥リフレーミングをイメージする。 (いろいろな形のフレームで周りを見てみよう。)	人間関係の形成3-(3) 心理的な安定2-(2) コミュニケーション6-(5)	・全体目標「リフレーミングを知ろう」を確認した後、それぞれの個人目標を確認する。 ・パワーポイントを活用し、具体的な場面や例を挙げながら説明をする。生徒の反応に応じて、T2が個別に説明や支援を行う。 【考え方を転換することで視野が広がることをイメージできているか】 ・具体例を紹介して生徒の発想を促し、共感的な反応を返す。 【違った表現をすることで見方や感じ方が変化することに気づけているかを伝え、賞賛する】 ・実際に様々な形や大きさのフレームを用いて、見方や視野の違いをイメージできるようにする。
5分	⑦自己評価シートの記入、全体の目標と個人目標の振り返りを行う。 ⑧次時の予告を行う。	健康の保持1-(4) 心理的な安定2-(3)	・数値で評価できるシートを準備する。 【生徒の発言や、ワークシートの表現を紹介し、自信に繋がる声かけ】